

理系力、求む。

産業の発展を通じて、未来に誇れる日本をつくりませんか。
多様な分野での活躍が待ってます。

一般職技術系業務紹介



お問い合わせ先

経済産業省 大臣官房秘書課

TEL : 03-3501-0085

Mail : bzl-recruit@meti.go.jp



新卒採用HPはこちら

なぜ理系で経済産業省なのか

官僚・国家公務員…と聞くと、堅い・お役所仕事・事務的なお仕事が多い…そんなイメージがないでしょうか。学生時代、一理系学生だった私たちもそう思っていました。

経済産業省は、「未来に誇れる日本をつくる。」をミッションのもと、国内外の情勢の変化を捉え、少しでもこの世界と国を良くするためにはどうしたらよいか…その本質的な課題を追求し、政策を企画・立案・実行している組織です。

国際情勢の不確実性の高まり、世界的な技術的革新の動き、少子高齢化・人手不足への対応、経済と環境の両立…世の中はいっそう難しい時代を迎えています。こうしたなか、日本がどのような方向に向かうべきか…複雑で解がみえない課題に対して、世の中を動かす“政策”をつくりあげるプロセスは、既往研究を踏まえ、自分がこれで正しいと思えるほど考え抜き、新規性ある成果を追求する“研究”と非常によく似ています。

そして、こうした前例のない局面で“答え”を出すには、様々なバックグラウンドを有する人々が、自身の経験や専門性を大いに発揮しあうことが重要です。デジタル、化学、工学、電機、農学…同質的な組織ではなく、様々なバックグラウンドを有する職員が、多様な力をかけあわせて、初めて道は拓けます。世界と日本の課題解決のためには、理系の専門性・バックグラウンドを有する皆さんの力が必要です。現に、多くの理系出身の職員が経済産業省では活躍をして働いております。

なぜ理系で経済産業省なのか

“政策”は、誰か偉い人がつくり、決めて、上から降ってくるものではありません。

変えたい世界、自分なりの問題意識や原風景をもとに、国内外の最前線で課題に直面する企業や経営者の声、研究を重ねる有識者の知見、揺れ動く社会に対する世間や地元の声を受け止め、その本質を見抜き、徹底的に考え抜き、議論をし尽くした職員同士でつくりあげるものです。

経済産業省には、手を挙げて能動的に動く若者に自由と賞賛を贈る文化があります。無いものは創ればいいと当たり前を考える価値観があります。挑戦する若手職員を応援しながら自らも挑戦者であろうとする先輩職員がいます。

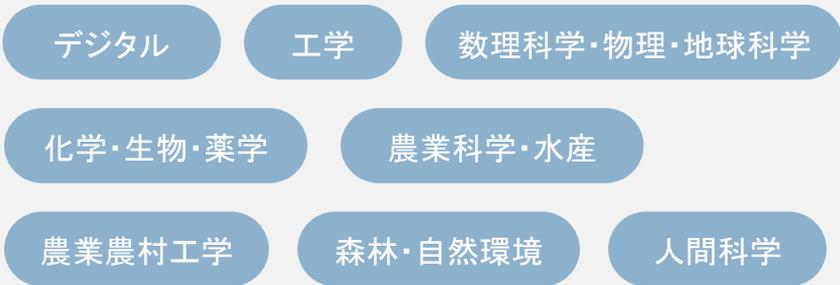
自身のバックグラウンドを活かしながら世の中を大胆かつ自由な発想で変えていきたい方、出来る限り多くの人を巻き込みながら、社会や産業の新たな仕組みやカタチを作りたい方、経済産業省には、そんな皆さんが活躍できる舞台があります。

これを読んで少しでも心の針が揺れた方は、是非どのような職員がいるか目を通してみてください。皆さんが門戸を叩いてくれるのをお待ちしております。

採用対象の試験区分

経済産業省本省は、**全ての技術系試験区分**が採用対象

総合職

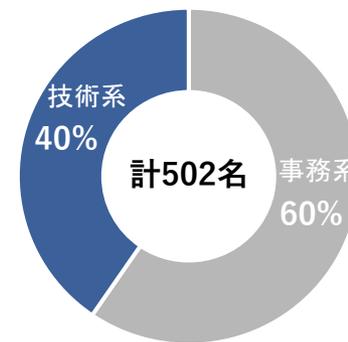
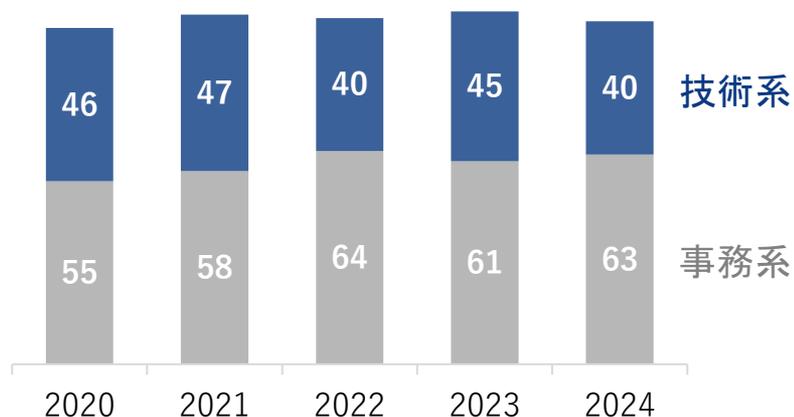


一般職



採用実績職員比率

毎年の新卒採用人数の**約4割**が技術系



※5年目までの職員数に対する技術系割合(2024年10月時点)
※総合職、一般職大卒程度で新卒採用された職員の総数から集計

組織図(R6.7.1時点)

経済産業省

約2,960人

経済産業省本省

大臣官房

- 調査統計G
- 福島復興推進G
- 産業保安・安全G

経済産業政策局

通商政策局

貿易経済安全保障局

イノベーション・環境局 - GXG

製造産業局

商務情報政策局 - 商務・サービスG

資源エネルギー庁

中小企業庁

電力・ガス取引監視等 委員会事務局

約2,720人

特許庁

約1,960人

地方経済産業局

北海道局

東北局

関東局

中部局

近畿局

中国局

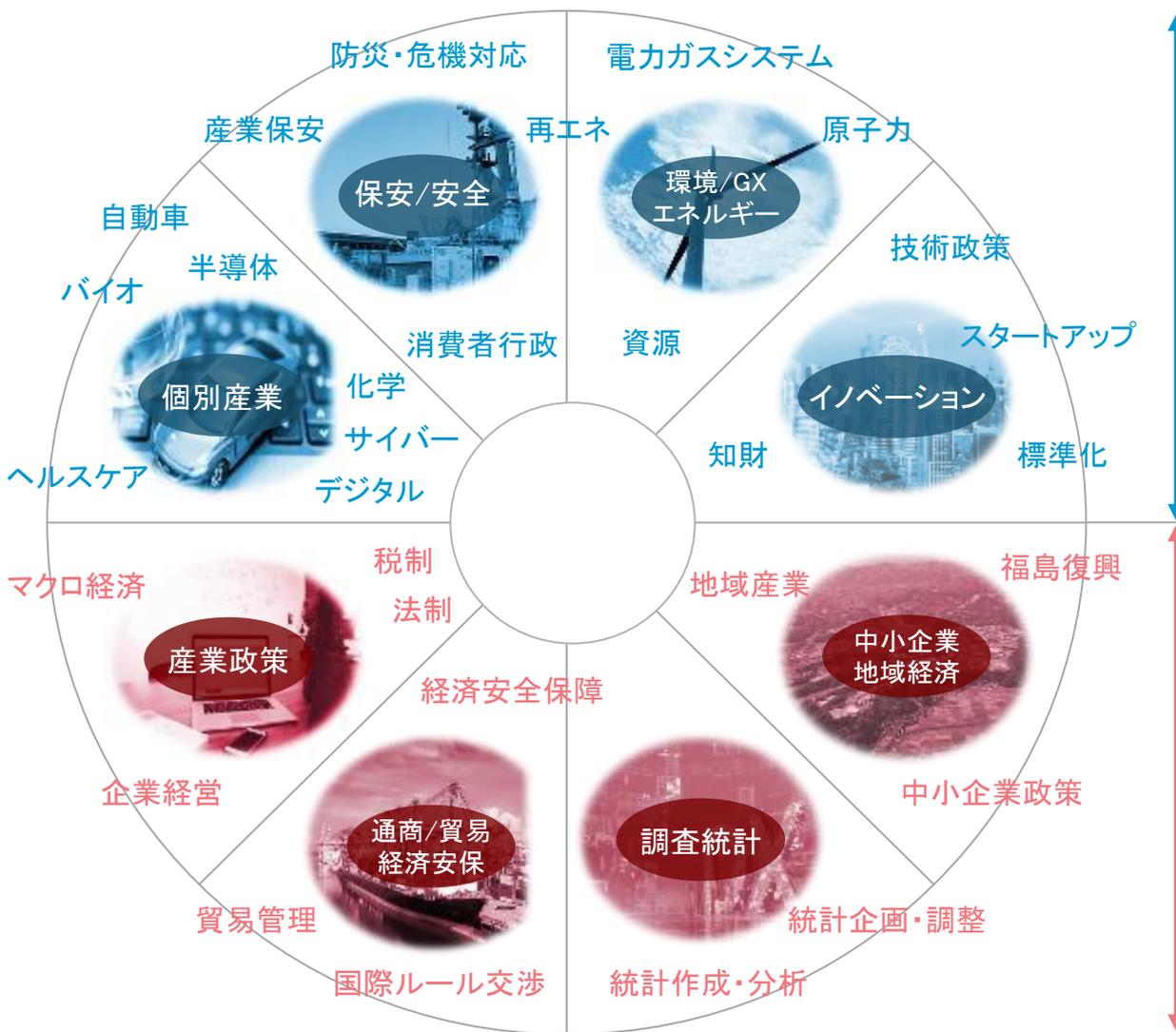
四国局

九州局

沖縄総合事務所

政策分野(例)

多くの政策分野を所管する経済産業省において、一般職技術系職員は、
特に個別産業、保安/安全、環境/GX/エネルギー、イノベーションの分野で活躍



一般職技術系職員の活躍が特に多いフィールド

学生時代、理系の素養から、既に触れたことがあったり、学生の関心が大いとともに、入省後も活躍の場を広げていく領域

これまでと違う分野で一般職技術系職員が身に着けるフィールド

学生時代は触れてこなかったものの、経産省職員として従事していく中で身に着けたり、入省後に職員の関心も強まる領域

経済産業省本省は、**事務系と技術系でキャリアステップの差異はない特徴**

（階層別研修、語学、法律、専門的な政策分野研修など）
個人のスキルアップのための様々な研修

管理職

経済産業省の代表

省外の会議で責任ある立場として発言。課・室長としての部下のマネジメントも重要な業務。

課長補佐

政策のエキスパート

様々な部署での経験を活かし、政策の方針決定や成果評価などにおいて、より責任のある役割を担う。チームのマネジメントも期待。

係長

政策の企画立案～実行の中心的役割

課題発見→新政策実行までの議論や調整、それに必要な資料作成や調査など、やり方は自分次第。

係員

経済産業省の職員としての基礎力固め

関係部署との業務を通じて仕事の仕方を学ぶ。2年目以降は後輩の教育や一人での会議への出席等、任される仕事も多くなります。

霞ヶ関外への出向機会も豊富

- ✓ 他国・地域/国際機関(200名以上)
- ✓ 地方自治体(約60名)
- ✓ 民間出向(約20名)

研修・留学機会も充実

- ✓ 海外留学(米英中等/公共政策・法律・技術等)
- ✓ 研修(マネジメント、語学・専門知識等)

もっと詳細なキャリアを知りたい人は、「METI CAREER GUIDE」も！



目次

ここからは、一般職技術系として働いている先輩職員のキャリアパスや各所属部署での具体的な業務について試験区分ごと紹介

 ① デジタル・電気・電子	#保安 #エネルギー #電力 #デジタル #サイバー #地域産業	P.08
 ② 機械	#半導体 #デジタル #科学技術 #エネルギー #国際 #標準化	P.11
 ③ 土木	#エネルギー #資源 #電力 #バイオ #デジタル #保安 #自治体 #日用品	P.15
 ④ 物理	#自動車 #宇宙 #研究開発 #環境 #GX #留学 #経済安保	P.19
 ⑤ 化学	#化学 #大気環境 #バイオ #研究開発 #デジタル #中小企業	P.23
 ⑥ 農学	#エネルギー #保安 #ロボット #中小企業 #サービス #福島	P.27
 ⑦ 林学	#環境 #エネルギー #電力 #燃料 #素材 #化学 #経済安保	P.30
 先輩職員の1日		P.33

Field

Skill

所属部署

- #保安 #燃料電池
- #エネルギー #省エネ法
- #法執行 #工場 #規制
- #デジタル
- #サイバーセキュリティ
- #福島復興
- #原子力 #地域産業
- #FIT #再エネ
- #電気事業者
- #電気料金
- #電気取引 #部局とりまとめ

2013
入省

- ✓ 役人の動き方のいろはを学ぶ(国会対応や議員対応、予算要求等)

2015

- ✓ 省エネ法の執行担当として法律のいろはを学ぶ

2017

- ✓ 課内全体のとりまとめ(総括)
- ✓ 予算獲得に向けたロジカル構築
- ✓ 基本計画策定に向けた省内外調整能力

2019

- ✓ 被災地から課題・ニーズを収集する行動力・コミュニケーション力
- ✓ 実現可能性の見極めに係る感覚
- ✓ 補助金執行(実務面の把握)

2021

- ✓ 再生可能エネルギーの利用の促進に関する特別措置法の法令知識
- ✓ FIT制度導入の政策効果や問題点に関する理解
- ✓ 根拠データからの集計・分析スキル

2023
現在

商務流通保安グループ
(現 産業保安・安全グループ)
製品安全課
資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
燃料電池推進室



資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
省エネルギー課



商務情報政策局
サイバーセキュリティ課

福島相双復興推進機構
地域生活支援グループ
まちづくり支援課



資源エネルギー庁
省エネルギー・新エネルギー部
新エネルギー課



電力・ガス取引監視等委員会
総務課

※赤枠囲いの部署は詳細
次頁に詳細アリ!

- 【部署概要】：再生可能エネルギーの利用促進
- 【担当業務】：再生可能エネルギー賦課金の算定、賦課金減免制度の執行

政策テーマ：国民負担に直結する再生可能エネルギー賦課金の算定

ミッション

- 再生可能エネルギー電気の導入促進として2011年から導入されている固定価格買取制度(FIT制度)の固定価格買取の原資は賦課金として、国民から公平に集められている。算定諸元を収集し、負担額の算定を行い、持続的な再生可能エネルギーの発展に繋げる

アクション

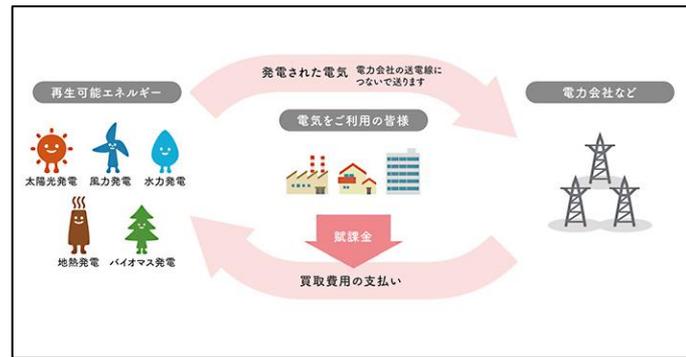
- 委託事業を活用して、発電事業者アンケートを実施(正確な導入量予測に向けた設問の調整)
- 賦課金の実績データの分析

アウトプット

- 翌年度の国民から小売電気事業者に支払う賦課金単価(円/kWh)が決定する

身に付くスキル

- ✓ 再生可能エネルギーの利用の促進に関する特別措置法の法令知識
- ✓ FIT制度導入の政策効果や問題点に関する理解
- ✓ 根拠データからの集計・分析スキル



電気ご使用量のお知らせ

エネ庁 タロウ	タロウ 様
●●年 × 月分	ご契約番号 000-000000-0 ご契約種別 AAA
ご使用量 000 kWh	ご請求予定額 0,000円
当月指示数 000	基本料金 000円
前月指示数 000	第1料金 000円
差引 000	第2料金 000円
	第3料金 000円
	燃料費調整額 0円
	再生エネルギー賦課金 0円

電気料金徴収証

エネ庁 タロウ 様
ご契約番号 000-000000-0 ご契約種別 AAA
●●年 × 月分
納付金額 0,000円
支払期日 〇〇月〇〇日
支払場所 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

再生エネルギー賦課金

電気料金 + 再生エネルギー賦課金 = 月々の電力会社へのお支払い

〈再生エネルギー賦課金の算定方法〉 再生エネルギー賦課金 = ご自身で使用した電気の量(kWh) × 賦課金単価 ※

※ただし、大量の電力を消費する事業所で、国が定める要件に該当する方は、再生可能エネルギー賦課金の額が減免されます。

【部署概要】：被災自治体の課題・ニーズ把握、専門家派遣等による復興支援

【担当業務】：被災自治体との連絡調整、専門家派遣事業の調整

政策テーマ：被災自治体のニーズ把握・専門家派遣

ミッション

- 福島相双復興推進機構では、専門家派遣事業による被災自治体支援を実施している。被災市町村それぞれの抱える問題点の解決を伴走支援で実現していく。

アクション

- 担当自治体への困り事に係る情報収集(訪問活動)
- 課題解決に適切な専門家の選定
- 専門家派遣事業の実施

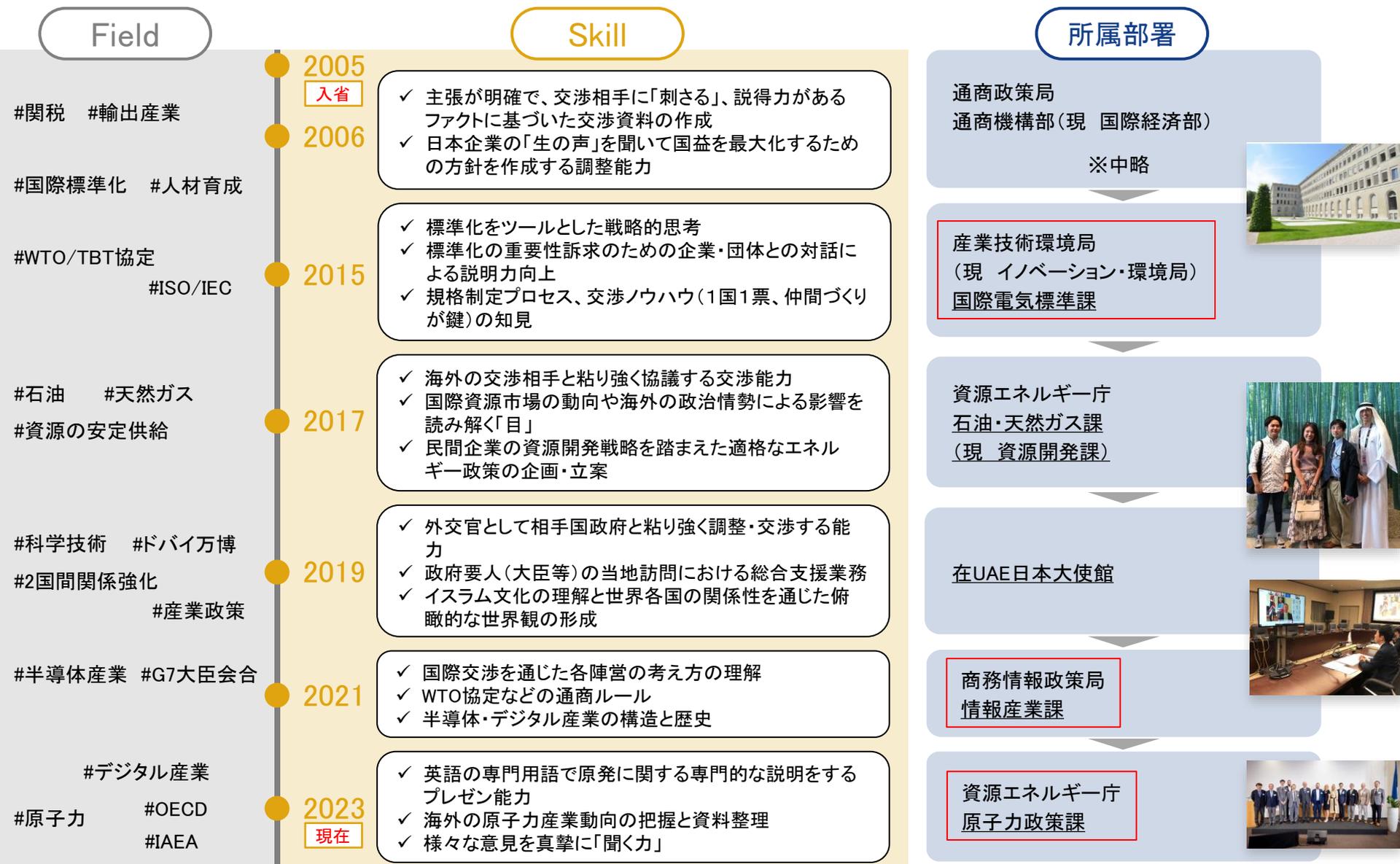
アウトプット

- 川俣町の復興拠点(とんやの里)の食堂リニューアル
- なみえまちづくり会議の開催

→ 身に付くスキル

- ✓ 被災地から課題・ニーズを収集する行動力・コミュニケーション力
- ✓ 実現可能性の見極めに係る感覚
- ✓ 補助金執行(実務面の把握)





※赤枠囲いの部署は詳細
次頁に詳細アリ!

【部署概要】：電気・電子・情報分野の国際標準化の推進、産業競争力強化
【担当業務】：総括係長。全体調整（課員の相談相手）、規格開発予算執行管理

政策テーマ：国際標準の戦略的活用による我が国産業の競争力強化

▼ ミッション

- 標準は任意であるが、規制や調達基準等に引用されると強制力を有する。また、WTO/TBT協定により国内標準を作成する際は国際標準を基礎としなければならない。そこで、戦略的に国際標準規格 (ISO・IEC) の開発を進めることで、標準をツールに海外での市場開拓・拡大を狙う。

▼ アクション

- 重点分野を中心とした規格開発支援(予算措置)、標準化人材育成、産業界等に対する働きかけ(対話、情報提供)などを実施。

▼ アウトプット

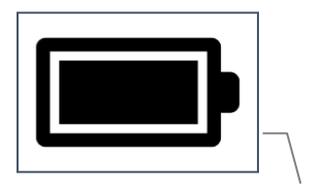
- 製品・サービスを広く普及・拡大していく上で標準化戦略は事業戦略、R&D戦略、知財戦略と一体的に運用することが期待される。METI政策により、企業の戦略的標準化を推進、日本主導による規格提案を増加

→ 身に付くスキル

- ✓ 標準化をツールとした戦略的思考
- ✓ 標準化の重要性訴求のための企業・団体との対話による説明力向上
- ✓ 規格制定プロセス、交渉ノウハウ(1国1票、仲間づくりが鍵)の知見

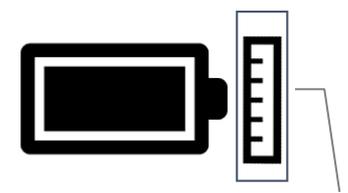
標準化の要素例

製品仕様の標準化



製品の必須要求事項を標準化

評価方法の標準化



試験方法や評価基準を標準化

【部署概要】：半導体・デジタル産業の振興

【担当業務】：所管産業に関する国際課題対応、海外展開支援、国際協力体制構築

政策テーマ：半導体サプライチェーンの国際協力体制構築

▼ ミッション

- ・ 当時(特に2021年以降)、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大によりロックダウン等が各地で行われる中、需給構造の急激な変化が発生、併せて米中を巡る状況により有志国間でのサプライチェーン構築が求められるところ、有志国と連携した国内半導体サプライチェーンの強化が必要。

▼ アクション

- ・ 国内半導体サプライチェーン強化のために必要な海外企業に対して招致活動を行うにあたり必要な情報収集、当該企業の国・地域との関係構築、日本との協力の機運を醸成する。

▼ アウトプット

- ・ 海外の大手半導体ファウンドリの国内立地決定。
- ・ 2国間協力による先端半導体プロジェクトの組成等。

→ 身に付くスキル

- ✓ 国際交渉を通じた各陣営の考え方の理解
- ✓ WTO協定などの通商ルール
- ✓ 半導体・デジタル産業の構造と歴史



G7デジタル・技術大臣会合
 (コロナ禍のためオンライン開催)



海外出張で訪問した半導体工場

【部署概要】：国内原発の再稼働等の利用拡大を通じたエネルギー安全保障の確保

【担当業務】：原発の導入を検討している国への能力構築支援等の国際協力

政策テーマ：原発の新規導入検討国に対する能力構築支援と利用拡大の支援

▼ ミッション

- 我が国が有する原発に関する優れた技術や知見を、これから原発を導入しようとする国々へ共有することでこれらの国々の能力構築を図り、もってエネルギーの安定供給と原子力の平和利用に貢献する。

▼ アクション

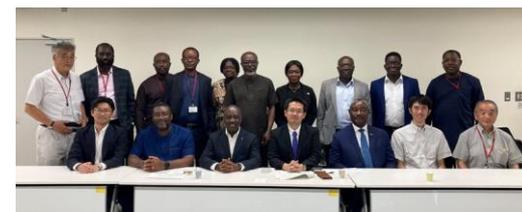
- 国際原子力機関(IAEA)やOECD原子力機関における国際会議に日本政府代表として出席し、世界各国でのエネルギー安定供給の確保に向けた原発の導入を図る。
- 原発の導入を検討していく国々の能力構築を支援するため、民間企業等とともにセミナーを開催し、我が国の優れた原発技術や知見を紹介する。

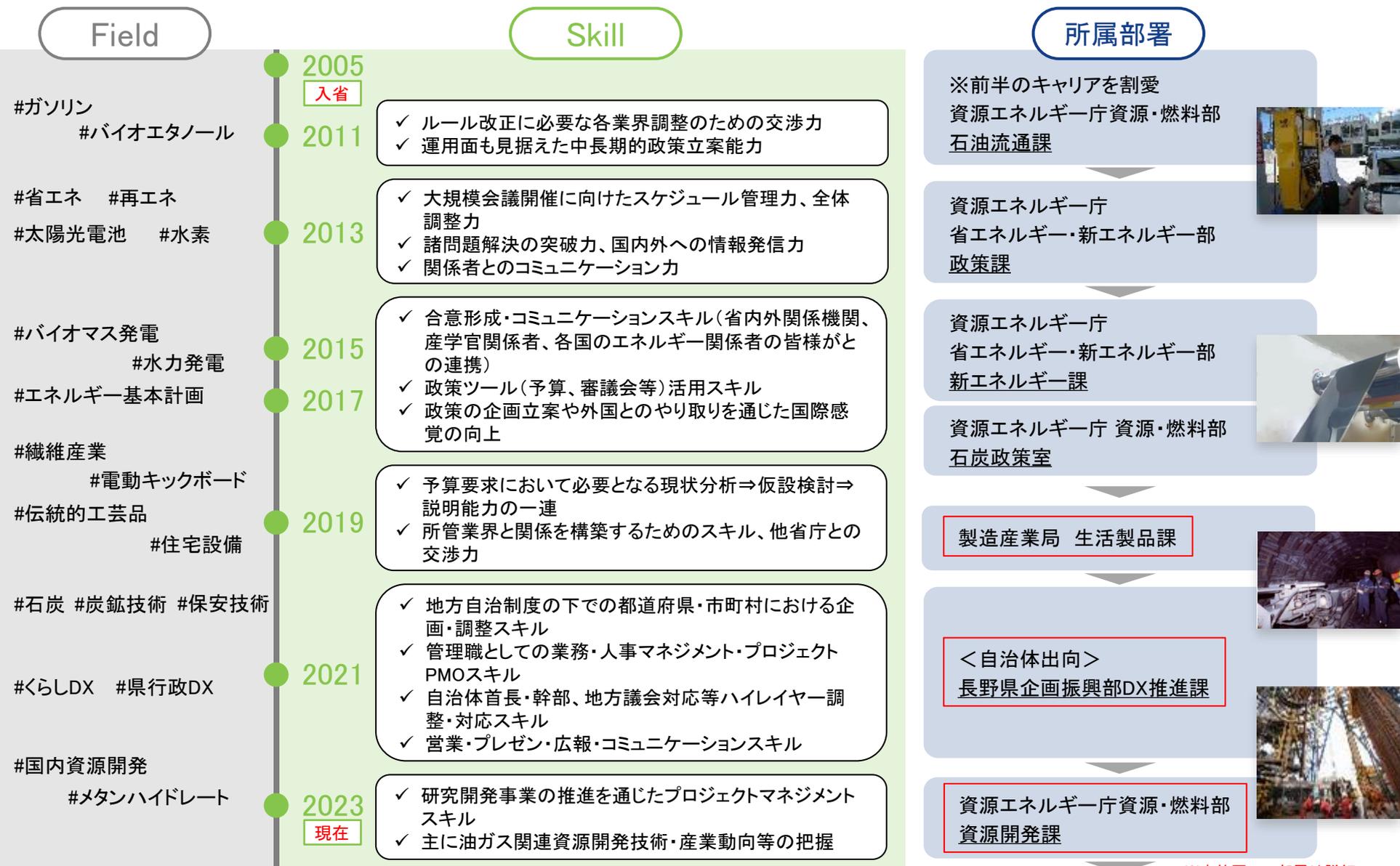
▼ アウトプット

- 世界各国での新規原発プロジェクトへ我が国の原発関連企業の製品が利用され、安全で平和的な原発利用の促進を図る。

→ 身に付くスキル

- ✓ 英語の専門用語で原発に関する専門的な説明をするプレゼン能力
- ✓ 海外の原子力産業動向の把握と資料整理
- ✓ 様々な意見を真摯に「聞く力」
- ✓ 語学(英語)





✓ ルール改正に必要な各業界調整のための交渉力
✓ 運用面も見据えた中長期的政策立案能力

✓ 大規模会議開催に向けたスケジュール管理力、全体調整力
✓ 諸問題解決の突破力、国内外への情報発信力
✓ 関係者とのコミュニケーション力

✓ 合意形成・コミュニケーションスキル(省内外関係機関、産学官関係者、各国のエネルギー関係者の皆様がとの連携)
✓ 政策ツール(予算、審議会等)活用スキル
✓ 政策の企画立案や外国とのやり取りを通じた国際感覚の向上

✓ 予算要求において必要となる現状分析⇒仮設検討⇒説明能力の一連
✓ 所管業界と関係を構築するためのスキル、他省庁との交渉力

✓ 地方自治制度の下での都道府県・市町村における企画・調整スキル
✓ 管理職としての業務・人事マネジメント・プロジェクトPMOスキル
✓ 自治体首長・幹部、地方議会対応等ハイレイヤー調整・対応スキル
✓ 営業・プレゼン・広報・コミュニケーションスキル

✓ 研究開発事業の推進を通じたプロジェクトマネジメントスキル
✓ 主に油ガス関連資源開発技術・産業動向等の把握

※赤枠囲いの部署は詳細
次頁に詳細アリ!

【部署概要】：繊維、日用品、住宅設備、伝統的工芸品等幅広い産業の振興

【担当業務】：伝統的工芸品の振興に係る予算確保、電動キックボードの普及促進

政策テーマ：①伝統的工芸品の振興 ②電動キックボードの普及促進

▼ ミッション

- ① 日本の伝統的工芸品を文化として絶やさないだけでなく、世界に打って出するための販促支援等のための予算確保。
- ② 電動キックボードを国内に普及させるための規制緩和。

▼ アクション

- ① 伝統的工芸品の振興に必要な政策立案・そのための予算確保。
- ② 電動キックボードは、当時道路交通法上の原動機付自転車に該当することによる規制(免許必要、車道通行、ヘルメット着用等)がかかっていたため、より利便性の高いモビリティとする規制緩和。

▼ アウトプット

- ① 伝統的工芸品の振興に必要な予算を確保し、若い世代への教育や販路開拓の実施に寄与。
- ② 電動キックボードが、道交法上の「特定小型原動機付自転車」に位置づけ(免許不要、車道以外の例外的通行可、ヘルメット任意等)。

→ 身に付くスキル

- ✓ 予算要求において必要となる現状分析⇒仮設検討⇒説明能力の一連
- ✓ 所管業界と関係を構築するためのスキル、他省庁との交渉力



刃物の工房を見学



着物で執務



電動キックボードの大学構内での実証

【部署概要】：長野県内くらしのDX、県庁内行政DXの推進

【担当業務】：管理職としての判断・マネジメント・調整・PR など

政策テーマ：デジタルを手段として生産性アップ、くらしを豊かに、魅力を向上

▼ ミッション

- 地域の人口減・少子高齢化への対処策の一つとして、デジタルを活用して、くらし・産業・行政のDXを推進し、長野県の魅力を向上させる

▼ アクション

- くらしのDX: 個別施策所管部局や市町村等に対するデジタル関連施策等インプット・取組後押し(GC移行、データ連携、共同調達促進等)
- 産業のDX: 関係部局との連携(空飛ぶクルマ・ドローン活用推進等)
- 行政のDX: 業務データ見える化、RPA、業務効率化ツール利活用促進

▼ アウトプット

- GC導入方針の決定(全市町村で連携)
- 空飛ぶクルマロードマップ策定、デジ田交付金採択
- 生成AI導入、部局印刷枚数等の見える化 など

→ 身に付くスキル

- ✓ 地方自治制度の下での都道府県・市町村における企画・調整スキル
- ✓ 管理職としての業務・人事マネジメント・プロジェクトPMOスキル
- ✓ 自治体首長・幹部、地方議会対応等ハイレイヤー調整・対応スキル
- ✓ 営業・プレゼン・広報・コミュニケーションスキル



出典) 国土交通省HP



出典) <https://www.hulft.com/>



出典) 長野県HP

【部署概要】：石油・天然ガス、石炭等の安定的かつ効率的な供給の確保

【担当業務】：国内資源開発（特にメタンハイドレート（MH）研究開発）

政策テーマ：非在来型資源であるMHを、新たな国産エネルギー源にできる？

▼ ミッション

- 国内資源開発は、地政学リスク・為替影響に左右されず安定的なエネルギー供給の確保が可能。また、水素等の原料としての利用可能性も
- MHについて、2030年度までに民間企業が主導する商業化に向けたプロジェクトが開始されることを目指す

▼ アクション

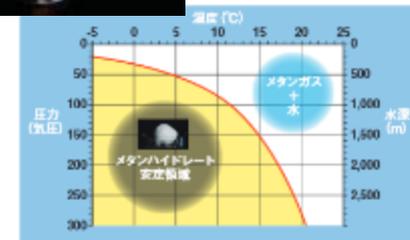
- エネルギー政策等として国内資源開発・MHの重要性等盛り込み
- 外部有識者や事業者の意見を踏まえた、MH研究開発計画の策定、計画に基づく研究開発PJ実施・管理（予算要求等含む）、PJ評価、評価を踏まえたPJ・計画の見直し（いわゆるPDAサイクル）

▼ アウトプット

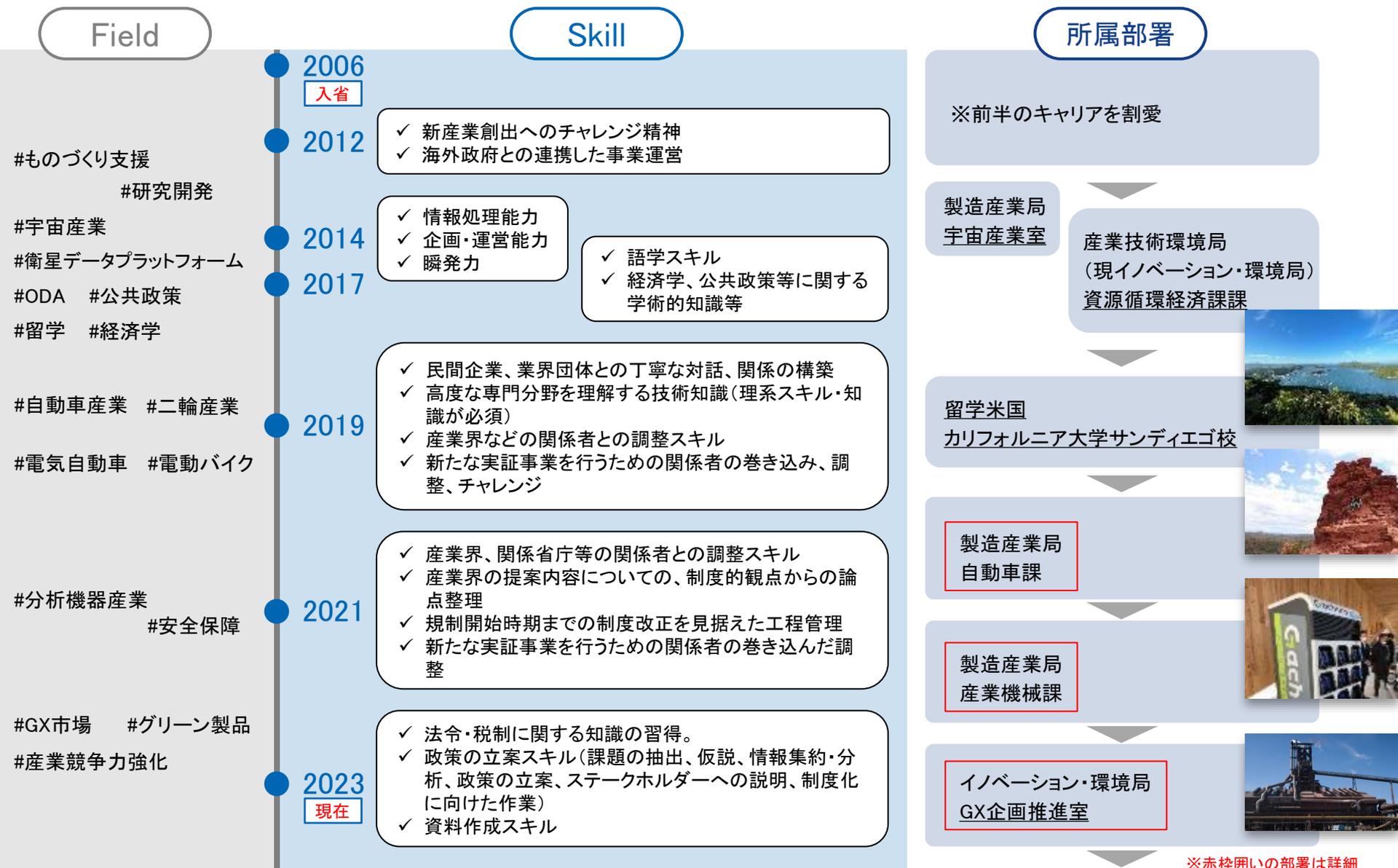
- 要素技術等実証のための海洋等での産出試験、有望資源の海洋調査、環境影響調査、ビジネスモデル検討、PJに関するPR など

→ 身に付くスキル

- ✓ 政策ツール（予算、審議会等）活用スキル
- ✓ プロジェクトマネジメントスキル（研究開発事業の推進を通じて）
- ✓ コミュニケーションスキル（省内外関係機関、産学官関係者）
- ✓ 主に油ガス関連資源開発技術・産業動向等の把握



出典)MH21-S ホームページ



【部署概要】：自動車産業の振興

【担当業務】：二輪車、商用車などの産業振興

政策テーマ：二輪車産業政策ロードマップ、電動バイク交換バッテリー実証の展開

ミッション

- 二輪車産業振興を進めるためのロードマップが2020年に期限を迎え、産業界から次期ロードマップの検討を求める声。国会でも質問を受けるなど政治からも注目。

アクション

- バイク産業を更に活性化させるため、2030年に向けた次期ロードマップを策定し発表。また、二輪の産業振興の新たな施策として、電動バイクの交換バッテリーの運用実証事業を実施。

アウトプット

- 2030年に向けたロードマップを新たに策定したことで、産業界が一丸となり二輪産業振興を進める土壌を作ることが出来た。
- 交換バッテリー事業会社が新たに設立され、実証事業者として参画することで、バイクの新たなビジネスモデルを検証することができた。

→ 身に付くスキル

- ✓ 産業界などの関係者との調整スキル
- ✓ 新たな実証事業を行うための関係者の巻き込み、調整、チャレンジ



二輪車産業政策ロードマップ2030の発表



電動バイク交換バッテリー実証事業

【部署概要】：産業機械業界の振興

【担当業務】：精密機器（分析機器、計測機器、空調など）の産業振興

政策テーマ：分析機器の経済安保対応

ミッション

- 技術覇権争いの激化等により、他国への技術流出リスクの高まりの懸念。日本が高い技術力を持つ機器、技術について、経済安全保障の観点からどう対応するか。

アクション

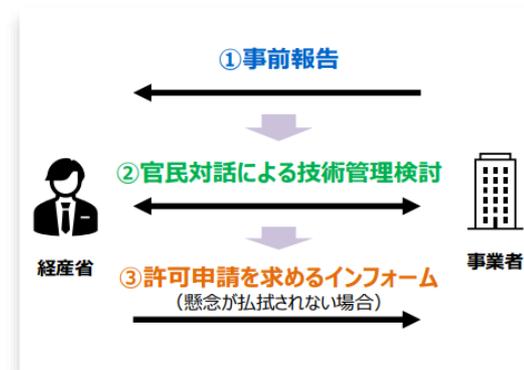
- 日本が高い技術力を持つ分析機器においても、他国からの脅威など同様の懸念。産業界と経産省が密に連携し、日本の優位のある技術をどのようにして維持していくか、慎重に議論を重ねた。

アウトプット

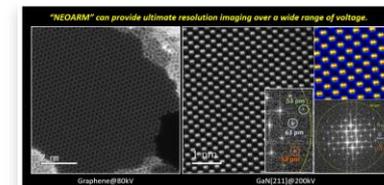
- 技術管理強化のための官民対話スキームが新たに構築され、対象に電子顕微鏡などを追加。官民の密な連携の元、適切な技術管理を行っていくことで、我が国の重要技術の流出防止をはかる。

身に付くスキル

- 民間企業、業界団体との丁寧な対話、関係の構築
- 高度な専門分野を理解する技術知識（理系スキル・知識が必須）



外為法に基づく技術管理強化のための
官民対話スキームの検討



(例)透過型電子顕微鏡

【部署概要】：脱炭素と経済成長の同時実現を目指すGXの推進
【担当業務】：企業のGX投資を促進する政策の企画立案・運用

政策テーマ：企業のGX投資の促進

ミッション

- 世界各国がカーボンニュートラルを宣言。欧米を中心に温室効果ガスの排出削減と経済成長を同時実現するGXに向けた投資が活発化。
- 企業のGX投資を促進することで、2050年カーボンニュートラル等の国際公約の達成、産業競争力の強化、経済成長の実現につなげる。

アクション

- 脱炭素効果が高く、我が国の経済成長をけん引する電気自動車やグリーンスチール等の国内投資を促進するため、過去に例のない大胆な投資促進策(税制措置)等を創設。

アウトプット

- 企業だけでは投資判断が難しいGX分野の投資を促進。
- 革新性の高いGX製品の市場創出を加速化。

→ 身に付くスキル

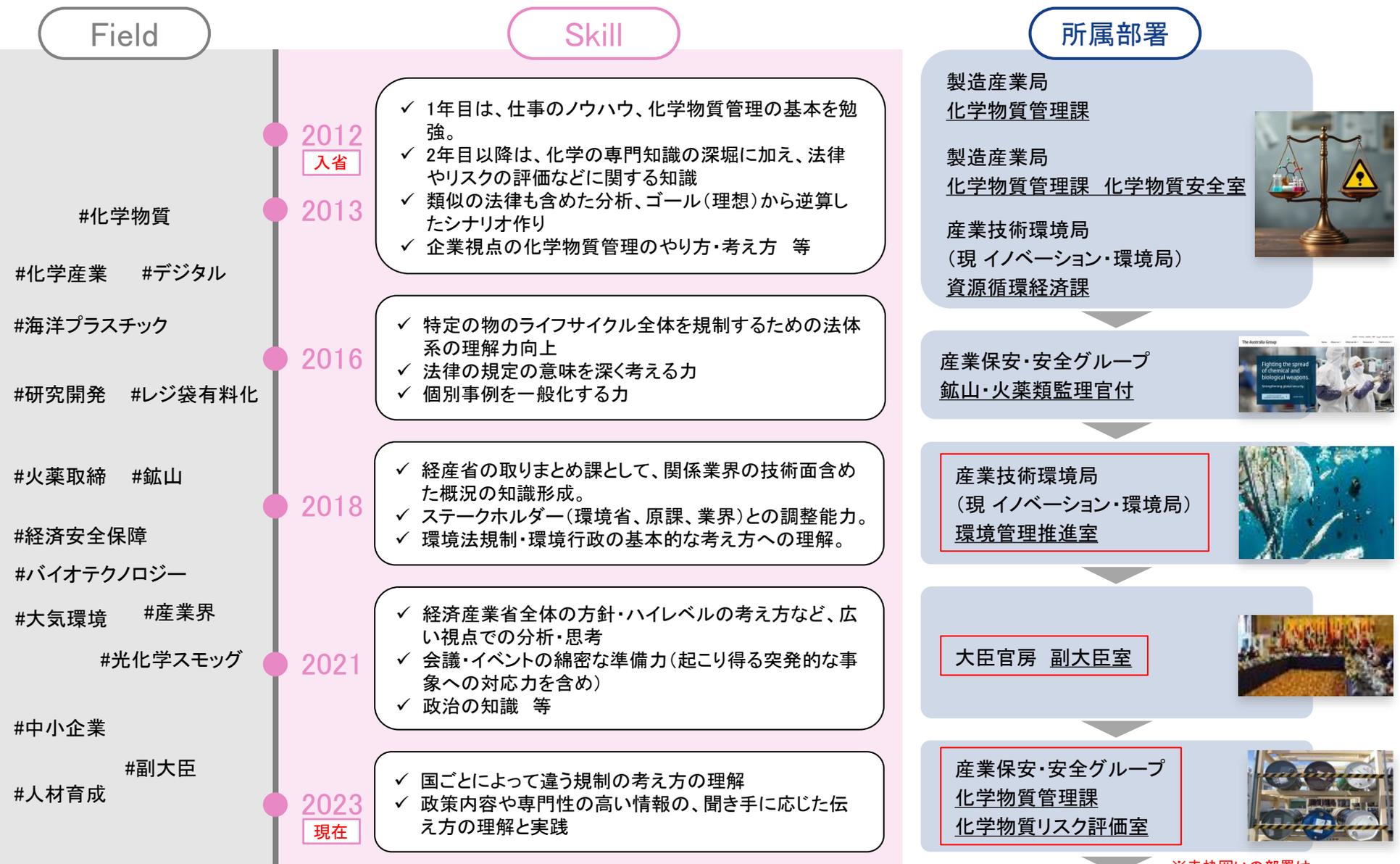
- ✓ 法令・税制に関する知識の習得
- ✓ 政策の立案スキル(課題の抽出、仮説、情報集約・分析、政策の立案、ステークホルダーへの説明、制度化に向けた作業)
- ✓ 資料作成スキル



電気自動車



鉄鋼業(電炉)



※赤枠囲いの部署は
詳細次頁に詳細アリ!

【部署概要】：経産省所管産業の公害防止対策の促進

【担当業務】：大気環境を取り巻く規制等の経産省窓口、環境省×業界の調整

政策テーマ：大気環境の保全と産業の発展の両立

▼ ミッション

- 産業界の取組を適切に評価すること。
- 規制の見直し等にあたり、産業界と環境省の架け橋になること。

▼ アクション

- 自主的取組を実施しているVOC・水銀・酸化エチレンについて、産業界の取組のフォローアップを実施。
- 制度見直しや新たな排出抑制対策が必要となる物質について、環境省や原課・業界団体が納得する形で合意できるよう意見調整の実施。

▼ アウトプット

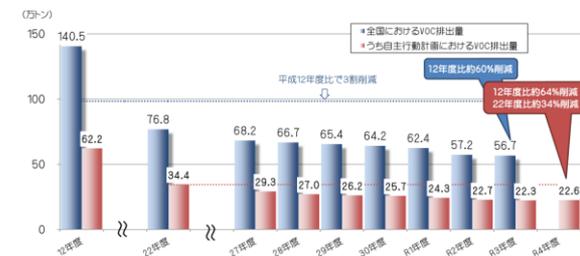
- 大気環境が改善する(悪化しない)ことが大前提として、過度な業界負担とならないよう、環境省との意見交換を通じて調整を行う。

→ 身に付くスキル

- ✓ 経産省の取りまとめ課として、関係業界の技術面含めた概況の知識形成。
- ✓ ステークホルダー(環境省、原課、業界)との調整能力。
- ✓ 環境法規制・環境行政の基本的な考え方への理解。



(出典) 環境省「揮発性有機化合物(VOC)の排出抑制制度について(パンフレット)」



(出典) 産業構造審議会産業環境対策小委員会資料2より抜粋

【部署概要】：副大臣の公務の着実な完遂

【担当業務】：副大臣に関すること全般（スケジュール、発言などの調整等）

政策テーマ：チーム副大臣の構築と業務完遂

▼ ミッション

- 副大臣は経済産業省の代表として会議・イベントの参加、国会での答弁、時には外交の最前線で厳しい交渉など、幅広く公務にご対応。
- 円滑・着実に公務を完遂させるため、事前調整から当日対応までチーム一丸でお支えする。

▼ アクション 【例：国際会議への出席の場合】

- 各国の主張や重要国などを踏まえ、事前に日本が勝ち取りたい目標、折り合える最低ラインなど、副大臣を含めて関係者ですり合わせ。
- スケジュール、車の手配、資料準備などの事前調整・当日の完遂。

▼ アウトプット

- チーム副大臣として信頼関係の構築と実行力。

→ 身に付くスキル

- ✓ 経済産業省全体の方針・ハイレベルの考え方など、広い視点での分析・思考
- ✓ 会議・イベントの綿密な準備力（起こり得る突発的な事象への対応力を含め）
- ✓ 政治の知識 等



日アラブ経済フォーラム閣僚会議



ウズベキスタン大使館で副大臣と大使の面会

【部署概要】：事業者による化学物質の自主管理の促進
 【担当業務】：室内調整（法令改正含む）、技術開発、制度のPR

政策テーマ：化学物質管理に関する情報提供

▼ ミッション

- 多様な機能をもつ化学物質が多種多様なシーンで使用されているが、扱う人は必ずしも化学のプロとは限らない。プロではない人がこれらを安全に扱えることが重要。

▼ アクション

- 化管法の制度は、事業所内での化学物質管理に加え、事業者間の情報共有と事業所・地域住民・行政によるコミュニケーションの推進に主眼がおかれている。これらが円滑に進むように環境を整える。

▼ アウトプット

- 有害性の懸念のある物質に関する情報収集と提供、セミナー実施、化学物質の評価を簡便にできるような技術開発、人材育成等を実施。

→ 身に付くスキル

- ✓ 税を除く政策ツールの選択・活用方法の理解向上
- ✓ 国ごとによって違う規制の考え方の理解
- ✓ 政策内容や専門性の高い情報の、聞き手に応じた伝え方の理解と実践

化学物質管理セミナー2024

本セミナーでは、日本国内に多数存在する化学物質管理関係法令のうち、多くの皆様に関係するものとして、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（化管法）、「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」（化審法）を主たる対象とし、各法令の理解に必要な知識・最新の情報をご紹介します。

本セミナーは Web によるライブ配信を行います。ライブ配信当日は質疑応答の時間も設けておりますので、ぜひご参加ください。

ご参加には事前のご登録が必要となります。

本セミナーは全3回が異なるプログラムとなっておりますので、開催日程及びプログラムをご確認の上、お申し込みください。

参加登録、その他詳細情報につきましては[化学物質管理セミナー2024](#)印をご確認ください。

開催日程

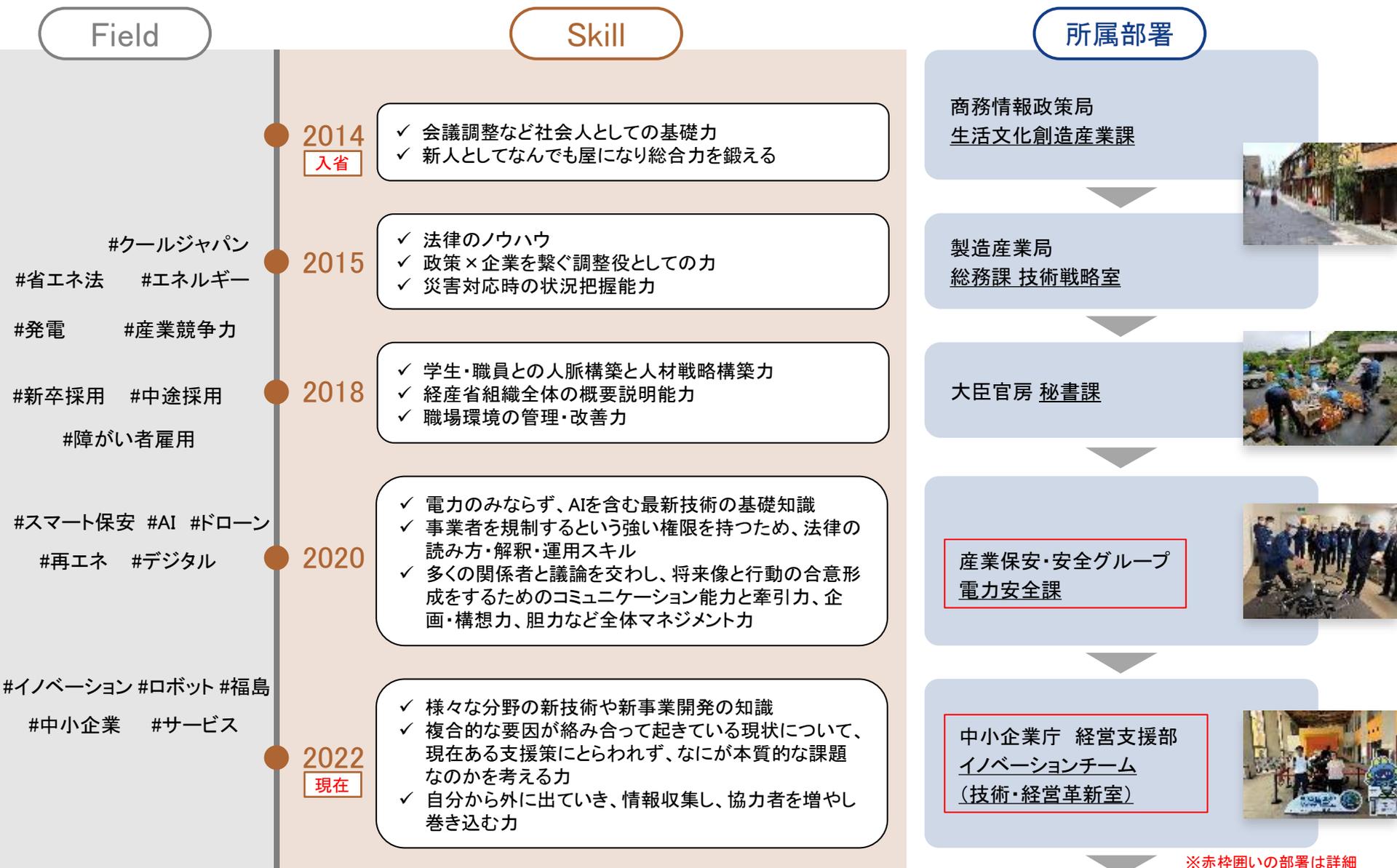
【ライブ配信】 全日ともにZOOMによる配信で、質疑応答時間を設けております。

第1回 化管法（PRTR）編	11月7日（木）13時30分～15時30分
第2回 化審法編	12月予定
第3回 化管法（SDS）編	2月予定

＜ドラム缶の横置き落下防止例＞



「災害による化学物質等による被害の未然防止に向けた好事例集」より



※赤枠囲いの部署は詳細
次頁に詳細アリ!

【部署概要】：電力を安全に供給・使用できるよう電力設備の保安を確保
【担当業務】：スマート保安のアクションプランの策定

政策テーマ：スマート保安の推進

ミッション

- 電力設備が古くなり、再エネ発電設備の事故も増加している一方、電力設備のメンテナンス等を行う人材が不足。
- 電力設備の保安をデジタル化し、保安力の向上及び生産性の向上をする「スマート保安」が求められていた。

アクション

- 大臣ヘッドの「スタートアップ保安官民協議会」を開催し、スマート保安の実現に必要な官と民それぞれのアクションを確認。
- 火力・水力・風力・太陽光・送配電・受電設備それぞれの事業者と相談し、現場で技術を見て、どの技術をいつまでに実装できるかを議論。

アウトプット

- 「電気保安分野スマート保安アクションプラン」を策定し、各事業者と合意。2025年までの各技術の導入率の目標を定めた。
- スマート保安の技術を審査し保証する専門家会議を設立。現在運用中。

→ 身に付くスキル

- ✓ 電力のみならず、AIを含む最新技術の基礎知識
- ✓ 事業者を規制するという強い権限を持つため、法律の読み方・解釈・運用スキル
- ✓ 多くの関係者と議論を交わし、将来像と行動の合意形成をするためのコミュニケーション能力と牽引力、企画・構想力、胆力など全体マネジメント力



スマート保安の将来像



火力発電所の点検ドローンと菅生田前大臣

【部署概要】：中小企業庁の技術の向上、新技術を利用した事業活動の促進

【担当業務】：中小企業庁のイノベーションの創出

政策テーマ：イノベーション・プロデューサー

ミッション

- 中小企業は雇用の7割・付加価値額の5割を占め、経済社会の中心。その成長のためにはイノベーションの創出が不可欠。
- 研究開発をしても事業化や収益につながらない事例が多数。市場で何が求められているのか、マーケティング力と構想力が不足。

アクション

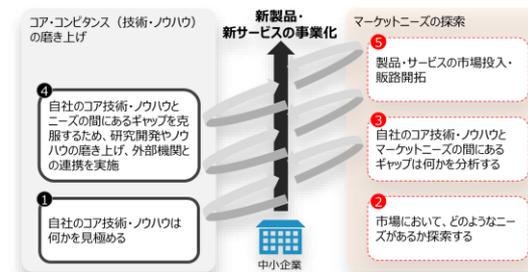
- ドイツを研究し、外部機関が5～10年後に売れる製品を分析し、開発し、技術の中堅企業に移転していると把握。
- 日本にも市場とつながり、構想・事業化まで伴走的に支援できる人材がいないか、全国津々浦々に出張して調査。検討会を開催して議論。

アウトプット

- 市場とのネットワークやニーズの収集、中小企業の新事業開発に実績がある者を「イノベーション・プロデューサー」とし、中小企業と連携して新事業を生み出せるか、その効果検証を実証事業として実施。

→ 身に付くスキル

- ✓ 様々な分野の新技術や新事業開発の知識
- ✓ 複合的な要因が絡み合っている現状について、現在ある支援策にとらわれず、なにが本質的な課題なのかを考える力
- ✓ 自分から外に出ていき、情報収集し、協力者を増やし巻き込む力



新製品・サービスを生み出す流れ



福島ロボットテストフィールドにて

Field

Skill

所属部署

#環境 #地球温暖化対策	● 2017 入省	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上司のスケジュール調整、会議セッティング ✓ 報・連・相など社会人としての基礎力
#エネルギー #プロパンガス (LPガス) #国家備蓄 #国際対話	● 2018	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 産業の実態を理解するためのヒアリング力 ✓ 事業運営のための必要予算獲得に向けた説明能力 ✓ 国際交渉の場のセッティングのための運営力・当日に向けたスケジュール管理
#電力 #火力発電 #安定供給 #化石燃料	● 2020	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 電力システムや発電の情報収集・分析能力 ✓ 審議会の場で公表する資料作成能力 ✓ 国会議員等への説明能力、国会対応能力(大臣答弁作成)
#化学産業 #紙パルプ産業 #セメント産業	● 2022	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 変動激しいGX政策の情報収集能力 ✓ 産業ごとの課題抽出⇒分析⇒政策立案⇒各所説明の一連 ✓ 課題に応じた予算・税・国家目標等の各政策ツール
#GX #経済安全保障 #新卒採用	● 2024 現在	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 学生・職員との人脈構築と人材戦略構築力 ✓ 経産省組織全体の概要説明能力 ✓ 職場環境の管理・改善力

産業技術環境局
(現 イノベーション・環境局)
環境経済室



資源エネルギー庁資源・燃料部
石油流通課
(現 燃料供給基盤整備課)



資源エネルギー庁電力・ガス事業部
電力基盤整備課



製造産業局 素材産業課



大臣官房 秘書課



※赤枠囲いの部署は詳細次頁に詳細アリ!

- 【部署概要】：石油（ガソリン）やLPガスの安定供給確保・振興
 【担当業務】：LPガス国会備蓄の法執行、予算確保、インフラ海外支援事業

政策テーマ： LPガス保安技術に関する連携・専門家派遣

▼ ミッション

- 東南アジア諸国はLPガス需要が伸長。一方、保安の法整備が整っておらず、このまま供給が広まればいずれ甚大な事故が発生する恐れ。

▼ アクション

- ミャンマーでは日本の優秀な保安技術の具体ニーズがあり、以下の取組を実施
 - ①日本の技術者をミャンマーに現地派遣
⇒実際の現場、現地の保安の脆弱性を再確認。
 - ②ミャンマー政府担当者を日本に研修生として受け入れ授業
⇒保安法律策定のサポート

▼ アウトプット

- 安心・安全にミャンマー国内でLPガスを供給するのみではなく、日本商社によるミャンマーへのLP供給や、日本のLP保安機器などの売り込むことができるメリットに。

→ 身に付くスキル

- ✓ 産業の実態を理解するためのヒアリング力
- ✓ 事業運営のための必要予算獲得に向けた説明能力
- ✓ 国際交渉の場のセッティングのための運営力・当日に向けたスケジュール管理



日本の技術者をミャンマーLP施設へ派遣



ミャンマー政府担当者とともに

【部署概要】：素材産業（化学/紙パルプ/セメント等）の振興

【担当業務】：素材産業分野のGX、経済安全保障、災害対応

政策テーマ：LPガス保安技術に関する連携・専門家派遣

ミッション

- 素材産業は製造業の排出するCO2の7割を占めほどの他排出産業。日本が2050年カーボンニュートラルを目指す中、産業ごとの脱炭素化の戦略を策定する必要。

アクション

- 素材産業といっても鉄鋼・化学・紙パルプ・セメントを複数の産業があり、その製造工程は異なる。産業ごとの製造工程を現場で理解し、どの部分に対する企業投資を促すことがその先の経済成長に繋がるのか見極める必要。
- 支援の優先順位を決め、分野別投資戦略として産業ごとのGX投資戦略および支援策を策定。

アウトプット

- 脱炭素化を単なるCO2削減策に留めるのではなく、企業の成長を後押しすることで、GX(グリーントランスフォーメーション)を通じた日本全体の経済成長を図る。

身に付くスキル

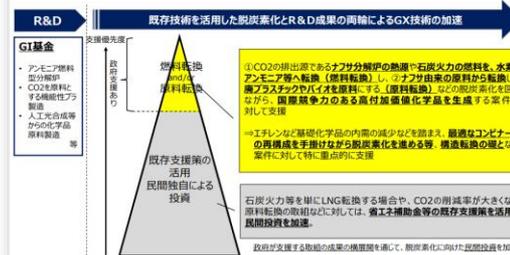
- ✓ 変動激しいGX政策の情報収集能力
- ✓ 産業ごとの課題抽出⇒分析⇒政策立案⇒各所説明の一連
- ✓ 課題に応じた予算・税・国家目標等の各政策ツール



化学プラント

化学領域におけるGX支援のイメージ

- 2050年カーボンニュートラルを実現するための課題は、①オフガソ分留率や石炭火力等の燃料転換、②オフガソ原料からの転換（原料転換）による、基礎化学品の内需減少に伴う供給能力の適正化。
- これら課題解決に繋がるトッパランナーとなる案件に対して国が支援することで、化学業界のGX化を促し、脱炭素化を通じた高付加価値化学品を生成し、国際競争力の維持・強化に繋げる。



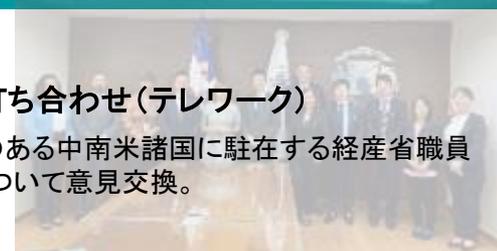
化学産業のGX支援の方針

コンテンツ産業課



- 8:30 ● **登庁**
 - ・ 定例朝ミーティングでタスクと方向性の確認。
- 10:00 ● **事業者との打ち合わせ**
 - ・ 予算事業やコンテンツ発信に関するイベントに関する認識すり合わせ
- 12:00 ● **昼食**
 - ・ 打ち合わせが外の場合はランチ。省内の場合はお弁当。
- 13:00 ● **資料作成**
 - ・ 予算要求資料やコンテンツ市場分析などの資料を作成。作った資料はあらゆる対外向け説明で活用。
- 15:00 ● **企業との打ち合わせ**
 - ・ コンテンツ技術に関する意見交換。外勤で企業を伺い、技術を体験させていただくことも
- 17:15 ● **議事録作成、残務処理**
 - ・ 事業者や企業等との打ち合わせ記録の作成。
 - ・ 残ったタスクの片付け。
- **退庁**
 - ・ 終わり次第、適宜退庁。プライベートタイム。

中南米室



- 8:00 ● **在外公館との打ち合わせ(テレワーク)**
 - ・ 週1回、時差のある中南米諸国に駐在する経産省職員と現地情報について意見交換。
- 9:30 ● **登庁**
 - ・ メールチェック、記事チェック
- 10:00 ● **資料作成**
 - ・ 訪日要人または出張に必要な資料の作成
- 12:00 ● **昼食**
- 13:30 ● **在京大使館または企業との打ち合わせ**
 - ・ その国への出張や交渉がある場合は在京大使館と意見交換。
 - ・ 中南米に進出する企業と会議を通じて中南米ビジネスの課題の洗い出しや投資成功事例を収集。
- 16:00 ● **議事録作成、資料作成**
 - ・ 外交は記録が命。丁寧に議事録を作成。
 - ・ 資料作成では予算要求の根拠となる統計データ分析や企業ヒアリングの結果を網羅。
- 18:00 ● **幹部レク**
 - ・ 訪日要人との面会が控えている場合などがあれば、幹部に説明。何もなければ定時で退庁。
- 20:00 ● **外国政府との打ち合わせ**
 - ・ 中南米の時差は-14~-12h。テレワークで対応。

ルーティーンday

9:30 ● 登庁

- ・ メールチェックとタスクの確認。

10:00 ● 有識者へのヒアリング

- ・ 中小企業のイノベーションの課題や支援の在り方について、大学教授や研究開発に取り組む企業、支援機関にヒアリング

12:00 ● 昼食

- ・ 虎ノ門付近でランチ。息抜きのために外へ。

13:00 ● 事務作業

- ・ こまごました発注に対応。予算の執行状況関係や、税に関する調査、次のヒアリングのアポ取りなど多岐にわたる。

14:00 ● 委託事業者との打ち合わせ

- ・ 現在実施している中小企業のイノベーション支援事業について、事務局と進捗や課題を共有。対処方法について指示。

15:00 ● 資料作成

- ・ 複数のヒアリングから得られてた示唆をもとに、イノベーションに関する新政策のたたき台を作成。

18:15 ● 退庁

- ・ 終わり次第、適宜退庁。プライベートタイム。

審議会前

9:30 ● 登庁

- ・ メールチェックとタスクの確認。

10:00 ● 作業の方向性の打ち合わせ

- ・ 前日に作成した審議会の資料について上司に確認依頼。修正や追加の情報収集について指示を仰ぐ。

12:00 ● 昼食

- ・ 忙しい時は地下の大戸屋へ。

13:00 ● 情報収集・資料作成

- ・ 午前中の打ち合わせをもとに、審議会での議論に必要な追加情報を収集・整理し、資料に落とし込む。

15:00 ● 審議会ロジマわりについて調整

- ・ 委員の日程調整や、会議室の確保、委員の交通費の申請、備品の申請など多岐にわたる。

17:00 ● 幹部レク

- ・ 作成した資料について幹部に説明。追加指示をもらう。

18:00 ● 資料修正

- ・ 幹部レクの結果をもとに再修正

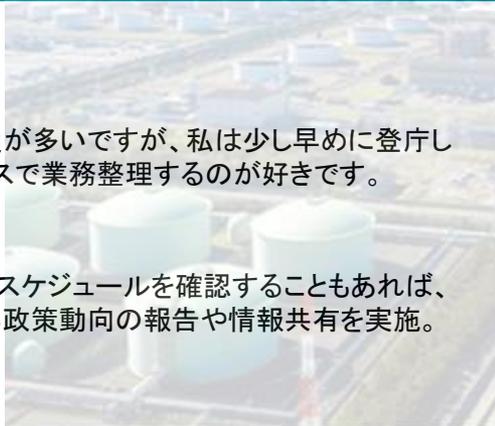
20:00 ● 残務処理

- ・ 昼間にできなかったこまごました作業に取り掛かる。

22:00 ● 退庁

- ・ 無理をしないよう、時間を決めて退庁。急ぎでないものは明日に回す。季節労働だと割り切って、夜更かしせずに早く寝る。

ルーティーンday



- 9:00 ● **登庁**
 - ・ 9:30登庁の職員が多いですが、私は少し早めに登庁して静かなオフィスで業務整理するのが好きです。
- 10:30 ● **課内会議**
 - ・ 課員で1週間のスケジュールを確認することもあれば、現在動いている政策動向の報告や情報共有を実施。
- 12:00 ● **昼食**
 - ・ 月～木は妻の作ってくれたお弁当、金曜は外食をしています！
- 13:00 ● **企業ヒアリング**
 - ・ 政策課題について足りない情報や企業・産業界の実態についてヒアリング！企業の工場へ視察することも。
- 15:00 ● **チーム内会議**
 - ・ ヒアリングで得られた情報のフィードバックや政策課題を解決するまでのTODO整理、アウトプット作成に向けた段取りを整理。
- 17:00 ● **資料作成**
 - ・ ヒアリングなどで得られた情報・データを分析したり、幹部や対外的にわかりやすく説明するための資料化。
- 19:00 ● **退庁**
 - ・ 何も無い日は残業もそこそこに退庁し、こどもの寝かしつけを。

国会対応発生時



- 9:00 ●
- 13:00 ●
- 14:00 ● **国会議員の元へ質問伺い**
 - ・ 翌日の委員会で所属課室に関する政策について質疑する連絡。質問の具体的な意図や問題意識を伺うため質疑をする国会議員のと打合せ。
- 15:00 ● **答弁作成**
 - ・ 質問伺いの内容を踏まえ、翌日の答弁者である大臣や局長等の答弁を作成。
- 16:00 ● **答弁クリアプロセス**
 - ・ 誤った情報を世の中に発信することは絶対にNG。翌日の答弁に向けて、答弁の内容や記載しているデータに誤りがないか、複数人に渡る綿密な確認を実施。
- 20:00 ● **答弁完成⇒答弁者説明の準備**
 - ・ 翌日の委員会の質疑の時間に応じ、答弁者への説明を当日中に実施することもあれば、翌朝に実施することも。
- 22:00 ● **退庁**

・ 午前中～昼過ぎの過ごし方は概ね通常日同様

国会対応の連絡